

INAX ギャラリー 2 特別企画展  
10days セレクション

進藤環展 - クロックポジション - 2011年8月1日(月)~8月10日(水)  
アーティスト・トーク 開催 8月1日(月)pm6:00~7:00

石田真也展 - ワンダフルラッシュ - 2011年8月19日(金)~8月29日(月)  
アーティスト・トーク 開催 8月19日(金)pm6:00~7:00

「10days セレクション展」は INAX ギャラリー 2 が開催している年 1 回の公募展です。  
通常の 1 ヶ月会期の企画展とは異なる、短い会期ゆえに新鮮で刺激的な表現を広く公募し、  
1 ヶ月会期の企画展と同様のサポートを行います。  
第 12 回目となる今回は、130 名の応募者の中から 2 名の作家を選んでここにご紹介します。

休館日 日曜日、8月11日~18日(展示替え期間含む)  
開館時間 10:00 AM ~ 6:00 PM  
企画 (株)LIXIL 入場無料  
会場 INAX ギャラリー 2  
〒104-0031 東京都中央区京橋 3 - 6 - 18 INAX:GINZA 2F TEL/ 03 - 5250 - 6530

\* 同時開催  
INAX ギャラリー 1 「凝縮の美学 名車模型のモデラーたち」展 開催中~8/20(土)  
ガレリアセラミカ 「器・小さなオブジェ・道具」展 8/5(金)~9/1(木)

次回予告  
黒崎香織(Kurosaki Kaori)展 (平面)  
会期:2011年9月1日(木)~9月28日(水)

## 進藤 環 (Shindo Tamaki) 展 - クロックポジション - 2011年8月1日(月)~8月10日(水)

見たことがないのに、見たことがあるような、どこか懐かしい風景がカラフルなパノラマ図鑑のように広がっています。森、羊歯の群生、杉林、沼、松ぼっくり、浜昼顔、サボテン、珊瑚、色鮮やかな花々・・・霧に包まれ、あるいは光に満ち、迷い込む人を誘うような、うっとりとするような幻想的な世界です。

進藤環の作品は写真によるコラージュです。図鑑のように精密で写実的な植物のひとつひとつ、風景全体の調和は、撮り溜めた膨大な写真プリントをいったん、はさみでバラバラに切り刻み、ジグソーパズルのように新たに張り合わせることを幾度となく繰り返して原画をつくり、それを再度撮影して完成させます。それによって、誰もが知っているはずの植物や森の植生が変更され、高山植物の横に海岸の花が咲き、秋草の隣に春のタンポポが飛ぶような独特の自然世界が構築されます。

進藤環は度々旅に出て道に迷います。それは子供の頃に住んでいた市街地でも同様に繰り返されてきた行動で、その時の驚愕、恐怖の強い感情、焦燥の中での記憶と知識の混乱が、作品制作のコラージュ作業とよく似ているのだと話します。大人になっても繰り返される森や山での迷いの体験と、ひとつの作品に半年の時間をかけるコラージュ作業の繋がりから、絵画のように美しくも不思議な世界が生まれました。また接木のような育成方法のある植物は、自然界のみならず人間社会にも通じる多様な生態観を表現するのにふさわしいモチーフであることも象徴的です。

進藤環はポナールを愛し、大学で油彩画を専攻後、写真の道へ進み、記憶や時空を重ね合わせることをテーマに現在の作品を制作するようになりました。2000年頃より数々の発表を重ねてきました。今展は作家にとってこれまでで一番大きな個展の開催となります。

\* 展覧会のサブタイトルの「クロックポジション」とは、空間の方向を時計の文字盤に置き換えて把握する方法です。視覚障害者が空間の把握のために用いられる方法でもあります。また山で目標物が見つけられない場合、太陽の向きと時計の短針(時針)から方角を割り出すことができます。

### [進藤環プロフィール]

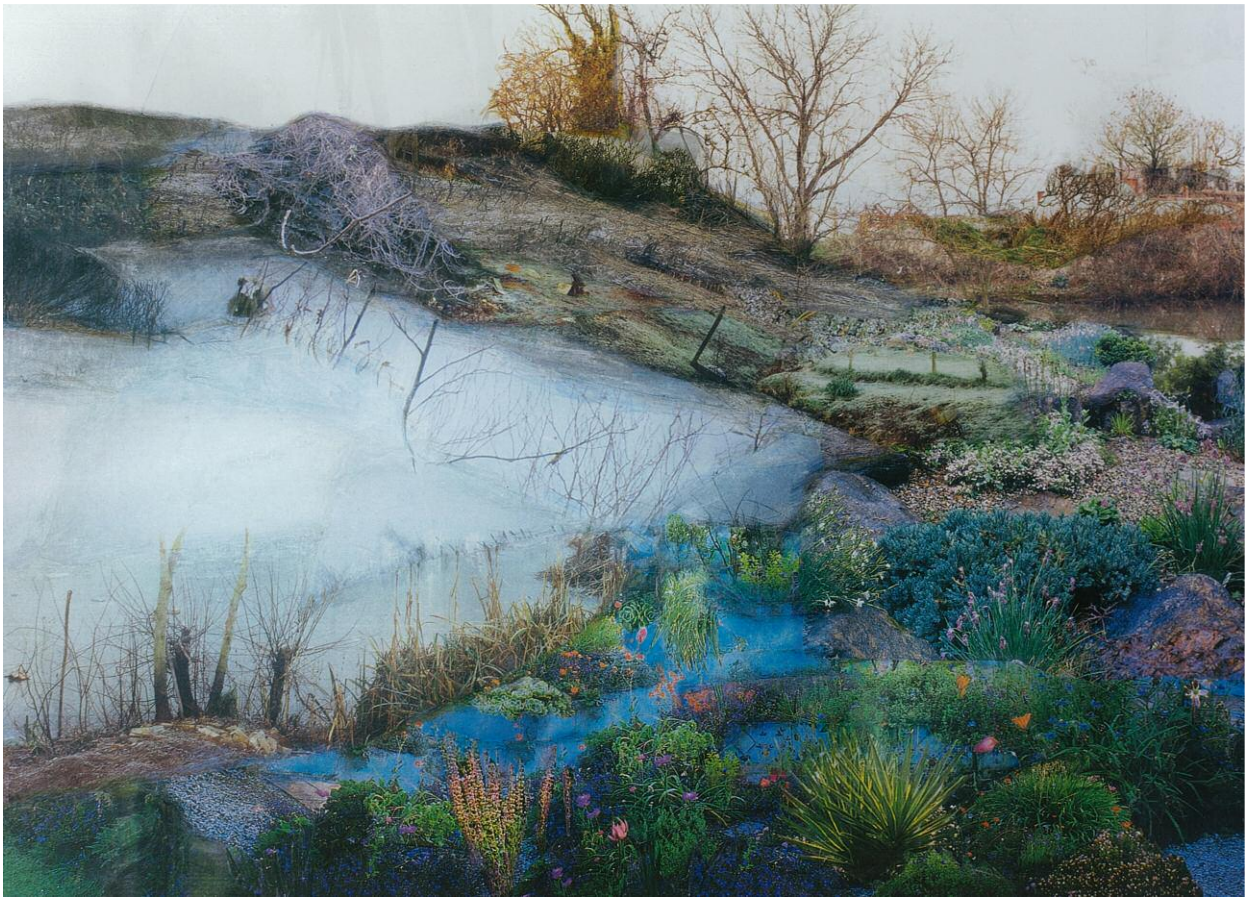
1974 東京生まれ  
1998 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業  
1999 武蔵野美術大学大学院油絵コース修了  
2006 東京総合写真専門学校第二学科修了

### 【個展】

2010 「Wandering dunes」 H.P.FRANCE WINDOW GALLERY (東京 丸の内)  
2010 「湿原の砂」 LOOP HOLE (東京 府中)  
2009 「動く山」 新宿眼科画廊 (東京 新宿)

### 【グループ展】

2010 「風景以前」 新宿眼科画廊 (東京 新宿)  
2009 「BankART 妻有 桐山の家」 (新潟 松代)  
「Open Studio4 Kodaira Artists Site」 (東京 小平)  
「DYNAMITE0000」 キタノスタジオ (東京 三鷹)  
2008 「食堂ビル 1929—食と現代美術 part4 横濱芸術のれん街」 BankART1929 (神奈川 横浜)  
2007 「世界は誰のもの？」 展 BankART1929 Studio NYK (神奈川 横浜)  
「For Rent! For Talent! 3」 三菱地所アルティアム (福岡)  
2004 「LOCALS」 村松画廊 (東京 銀座)  
2002 「みどりの風展」 ギャラリーかれん (神奈川 横浜)  
2000 「平成 12 年度大学院修了制作優秀賞展」 武蔵野美術大学美術資料図書館 (東京 小平)



絶え間なく沿る 2011年 1140mm×820mm type C print 進藤環展



timberline 2011年 1200mm×900mm type C print 進藤環展

## 石田真也 (Ishida Shinya) 展 ワンダフルトラッシュー 2011年8月19日(金)~8月29日(月)

石田真也の作品は、廃品素材を極彩色の祭壇のように組み合わせ、カラフルでエネルギッシュな楽しさあふれるインスタレーションです。

ガシャポンのプラケース、ペットボトルのフタ、色モール、櫛、虫籠、ヘアカーラー、物干しハンガー、お菓子の空き箱、おもちゃの部品、冷凍うどんのアルミ容器など、道端やゴミ捨て場で拾った廃物や、日々の生活の中のチープな既製品を何でも素材にしてしまいます。こんなものがと驚くような部品を見つけるのも、楽しみであり驚きのひとつです。

祭りをテーマに祭壇のシンボルをイメージした「祭(さい)鏡(きょう)」シリーズは、直径1メートルほどの円形で、ピンクや緑、赤青黄色、ビタミンカラーのプラスチック素材をぐるりとちりばめています。お店の開店祝いに贈られる大きなピンクの花環や、アジアの繁華街の電飾きらめく賑わいを思い起こさせます。

「祭鏡」を掲げる色鮮やかな大祭壇には、虫籠や落ちていた棚、鳥の巣箱を、金屏風や貝やスプレー缶のフタで装飾して並べ、その前に神社の鈴緒のような織紐をずらりと下げて、脇時には羽根を丸く広げた鳥のとぼけたオブジェが控えます。自由な発想でイメージされた色と形は、高揚したお祭りの中に飛び込んだような、大きなエネルギーと強いパワーとユーモアと、生きる喜びを放っています。

石田真也は、大学では彫刻とテキスタイルを学び、タイやインドへの旅行をきっかけに、色へのこだわりと憧れをかたちにするようになりました。ゴミ捨て場や道端の廃品を集める癖と、色を使うことが結びつき、このような作品が生まれました。友人たちと改造したシェアハウス兼アトリエに住まい、家中を自由に作品で埋め尽くし、時には感謝祭などを行って料理や音楽を大勢で楽しむというライフスタイルも、生活の一部のように作品が生み出されていく理由のひとつなのでしょう。

東京での初個展となる今展では、祭鏡シリーズを中心に、会場中を石田ワールドで染め上げる予定です。パワーとカラー、暖かなカオスに満ちた空間をぜひお楽しみください。

### [石田真也プロフィール]

1984 和歌山生まれ

2007 大阪成蹊大学芸術学部美術工芸学科テキスタイルコース卒業

### [グループ展]

2005 JAPANTEX2005『変容する空間』(東京ビッグサイト/東京)

2006 JAPAN TEXTILE CONTEST グランプリ受賞 (一宮 / 愛知)

いい男は頑張らない展 (ギャラリー H2/ 京都)

湖族の郷アートプロジェクト (大津市堅田地域 / 滋賀)

2007 おてらでシネマ(おてらハウス/京都)

2007 Summer T-shirtCollection(ESPACE446/ 大阪)

KAWARABAYASHI MICHIKO + ART UNIT(wacoal ginza art space/ 東京)

ART COM 2007 (私のしごと館 / 京都)

NICEGUY?EXHIBITION (大阪成蹊大学バス停前 / 京都)

2008 京都府美術「工芸新鋭点 2008 京都工芸ビエンナーレ」(京都文化博物館 / 京都)

大阪成蹊大学卒業制作展 (京都市美術館 / 京都)

New Horizon 2008 (大阪成蹊大学芸術学部ギャラリー spaceB/ 京都)

ART Competition「神々への捧げもの」(平安神宮境内 / 京都)

2009 Clip4 ARTISTS RECOMMENDED ARTISTS( sowaka/ 京都)

第19回紙わざ大賞展 入選(プラザおおるり / 静岡)

大成蹊展vol.1 Return to Origin(大阪成蹊大学芸術学部ギャラリー spaceB/ 京都)



三輪屋台 2009 自転車 廃品など  
石田真也展

祭壇 2009 プラスチック廃品など 石田真也展



祭鏡 12 2011 1100mm × 1100mm × 400mm  
プラスチック 電球 廃品など 石田真也展



祭鏡 07 2011 1250 × 1100 × 530mm  
プラスチック 廃品など 石田真也展

